

宮崎清先生の令和3年秋の叙勲における
「瑞宝中綬章」の受章について

千葉大学 植田憲

日本デザイン学会の名誉会員である宮崎清先生が、令和3年秋の叙勲で「瑞宝中綬章」を受章されました。宮崎先生が栄誉に輝かれたことを心よりお慶び申し上げます。

宮崎清先生は、昭和18年山梨県に生まれ、昭和40年3月に千葉大学工学部を卒業し、千葉大学助手、講師、助教授を経て平成3年5月に同大学教授、平成14年4月に千葉大学工学部長、平成16年4月に千葉大学理事に就任され、平成20年3月に千葉大学を定年にて退職されるまでデザイン学の教育・研究の発展に努め、平成20年4月に千葉大学名誉教授になられ今日に至っています。

日本デザイン学会においては、昭和43年4月に正会員となり、永年にわたり同学会の要職を歴任されました。特に平成8年4月から平成12年3月までは、会長として同学会の発展に大きく貢献されました。

宮崎先生は、意匠論・意匠史を基盤とした基礎理論から伝統的工芸品のデザイン開発や地域振興に繋がる実践・応用まで、国内外をフィールドとして多岐にわたる教育・研究を展開しながら、多数の学生を指導されるとともに、数多くの著書・論文を刊行されてきました。特に「野に出て生活を学ぶ」を主唱し、デザインサーベ이를導入したデザイン教育・研究を進展させました。生活者が自らの暮らしに用いるものづくりを行う生活工芸の調査・研究と振興活動を推進し、なかでも「藁」を活用した生活文化の様態を精査し体系的に著した功績、ならびに、福島県大沼郡三島町における野生の蔓や草を用いた編み組細工を生活工芸と位置付け地域づくりに結実させた功績は特筆されます。また、日本国内のみならず、中国・台湾を中心としたアジア諸国における各地の地域振興活動にも指導的立場で寄与されました。

なお、日本デザイン学会からは、藁の意匠と生活文化に関する一連の研究に対して昭和63年に「学会賞」が、デザイン哲学を基盤に据えた地域振興ならびに生活文化創生に関わる研究と実践に対して平成12年に「学会特賞」など多数の賞が授与され

ています。また、平成17年には「勝見勝賞」を受賞されるなど、デザイン学の発展に資する優れた業績が懸賞されています。

他にも、グッドデザイン賞の選考にあたるなど広くデザインの発展に寄与された他、通商産業省ならびに経済産業省・伝統的工芸品産業振興協会伝統的工芸品デザイン研究委員会、文部科学省・文化審議会専門委員会、経済産業省・伝統的工芸品産業審議会専門委員会において要職を務めるなど、伝統的工芸品産業振興・文化財の保全に貢献されました。

日本デザイン学会2021年度第2回運営委員会議事録

日時■2021年9月4日（土曜日）15:00～17:00

場所■Web会議

出席者■小林、佐藤（弘）、生田目、赤井、アルバレス、池田、井上、大島、岡本、上綱、工藤、久保、國澤、境野、佐々木、杉下、滝本、田村、寺内、永盛、橋田、蓮見、平松、松岡、山内、横溝、村上、山中、小野、蘆澤、加藤（健）、佐藤（浩）

欠席者■井関、柿山、國本、小山、曾我部、伏見、益岡、柳澤、山本、柚木

1. 会長挨拶

小林会長より挨拶がなされた。

2. 2021年度第2回理事会議事録の承認（佐藤本部副事務局長）

2021年度第2回理事会の議事録が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 2021年度秋季企画大会について（生田目企画委員長、小野研究推進委員長）

生田目企画委員長、小野研究推進委員長より、OPEN SIG 2021のスケジュール案が示された。具体的には、10研究部会への参加を想定し、午前と午後に各5研究部会による研究紹介等を実施する案が示され、承認された。また、現在HPやチラシを準備中であり、参加する研究部会決定後、告知を行うとの報告がなされた。

4. 2021年度学会各賞選考について（山中担当理事）

山中担当理事より、年間論文賞3件と作品集4件の応募があったとの報告がなされた。審査工程に遅延が発生しているが、11月6日の発表に向けて審査と準備を進めていくとの説明がなされた。

5. 2022年度春季研究発表大会について（小林会長）

小林会長から、2022年度春季研究発表大会は理事会メンバーを中心とした新しい組織を編成して実施するという案が示され、承認された。なお、次年度もオンライン形式で開催することとなった。

6. 2021年度デザイン関連学会シンポジウムについて（松岡担当理事）

松岡担当理事より、日程とパネルディスカッションテーマ案「デザインの始原」が示された。日本デザイン学会を代表して、パネルディスカッションにご登壇いただける方を募集しており、1週間ほどの期間内で自薦他薦問わずご連絡をいただきたいとの説明がなされた。なお、連絡がなかった場合には松岡担当理事と小林会長先生で登壇者を決定することとなった。

7. デザイン科学基礎講座の開設（教育・資格委員会、デザイン科学研究部会、松岡理事）

松岡理事より、デザイン科学基礎講座開催の説明がなされ、承認された。今後、多くの研究部会と連携して同様の講習会を進めていきたいとの提案がなされた。

8. 国立国会図書館インターネット資料収集保存事業について（大島広報委員長）

大島広報委員長より、国立国会図書館インターネット資料収集保存事業に関する説明がなされた。審議の結果、当該事業へ参加することとなった。

9. JSSD Webページの更新状況調査について（大島広報委員長）

大島広報委員長より、webページの更新状況調査実施について説明がなされた。運営会議後、同調査を進めていくこととなった。

10. 選挙管理委員の選出について（永盛選挙管理委員長）

永盛選挙管理委員長より、4名の選挙管理委員候補が示された。審議の結果、承認された。

11. 会員の移動について（佐藤本部副事務局長）

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、

入会：正会員24名（内海外会員3名）、

学生会員8名（内海外会員4名）

退会：正会員3名、

学生会員1名（海外会員）

休会：正会員1名

が承認された。

12. 入退会資料の形式変更について（佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長より、会員管理システムの導入により理事会資料における入退会情報の形式を変更するとの説明がなされ、承認された。

【報告事項】

13. 2021年度春季研究発表大会について（境野実行委員）

境野実行委員から、2021年度春季研究発表大会の実施報告がなされた。

14. Design シンポジウム2021について（松岡担当理事）

松岡担当理事から、Design シンポジウム2021の開催報告がなされた。

15. 裁判所からの過料命令について（佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長から、法人化後、役員変更に関する届出忘れに対する過料があったとの説明がなされた。今後は、同様の手続きを円滑に行える体制を整えていくこととなった。

16. 機械工業デザイン賞IDEAにおける日本デザイン学会賞について（小林担当理事）

小林担当理事から、機械工業デザイン賞IDEAにおける日本デザイン学会賞の審査過程や受賞製品に関する説明がなされた。

17. デザイン学研究の進捗状況について（久保論審委員長）

久保論審委員長より、『デザイン学研究』における審査状況と68巻2号の準備状況について報告がなされた。

18. 英文ジャーナルの進捗状況について（村上論審委員長（代）久保論審委員長）

久保論審委員長より、『Journal of the Science of Design』における審査状況と5巻2号の準備状況について報告がなされた。

19. 特集号の進捗状況について（寺内学会誌編集・出版委員長）

寺内学会誌編集・出版委員長より、10月発行予定分の準備状況について報告がなされた。次年度以降の企画についても随時募集しているとの説明がなされた。

20. 作品集の進捗状況について（杉下作品審査委員長）

杉下作品審査委員長より、募集期間の延長や応募数について報告がなされた。

21. ホームページ更新状況について（大島広報委員長）

大島広報委員長より、ホームページへのアクセス状況の報告がなされた。

記録：佐藤（浩）

日本デザイン学会2021年度第3回運営委員会議事録

日時■2021年11月6日（土曜日）11：00～12：00

場所■Web会議

出席者■小林、佐藤（弘）、生田目、赤井、池田、井関、井上、大島、柿山、上綱、工藤、國本、久保、杉下、曾我部、滝本、田村、寺内、永盛、平松、伏見、益岡、松岡、村上、柳澤、山内、山本、横溝、小野、蘆澤、加藤（健）、佐藤（浩）

欠席者■アルバレス、岡本、國澤、小山、佐々木、橋田、蓮見、山中、柚木

1. 会長挨拶

小林会長より挨拶がなされた。

2. 2021年度第2回運営委員会議事録の承認（佐藤本部副事務局長）

2021年度第2回運営委員会の議事録が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 2021年度秋季企画大会について（生田目企画委員長）

生田目企画委員長より、OPEN SIG 2021の準備状況とスケジュールの確認がなされた。

4. 2021年度学会各賞選考について（山中担当理事（代）小林会長）

小林会長より、工程の遅れにより審査が完了していないことから、秋季企画大会での受賞者発表は行わないとの説明がなされ、承認された。また、合わせて2022年度の春季大会での発表を目指して審査を進めていくこととなった。

5. 2021年度デザイン関連学会シンポジウムについて（松岡担当理事）

松岡担当理事より、日程、パネルディスカッションテーマ、および登壇者について報告がなされた。また、次年度JSSDが幹事学会となること、次年度の秋季企画大会のテーマと合わせた開催、および対面開催の場合には慶應義塾大学の三田キャン

パスで実施することなどの提案がなされ、承認された。

6. 役員選挙スケジュールについて（永盛選挙管理委員長）

永盛選挙管理委員長より、役員選挙スケジュールについて説明がなされた。また、完全オンラインによる実施も検討しているが、その場合の選挙の客観性や公平性についても合わせて確認することとなった。

7. 会員の移動について（佐藤本部副事務局長）

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、

入会：正会員8名、

学生会員5名（内海外会員2名）

退会：正会員10名、

学生会員6名（内海外会員2名）

が承認された。

【報告事項】

8. デザイン学研究の進捗状況について（久保論審委員長）

久保論審委員長より、『デザイン学研究』における審査状況と68巻2号の発行状況について報告がなされた。

9. 英文ジャーナルの進捗状況について（村上論審委員長）

久保論審委員長より、『Journal of the Science of Design』における審査状況について報告がなされた。

10. 特集号の進捗状況について（寺内学会誌編集・出版委員長）

寺内学会誌編集・出版委員長より、特集号の準備状況について報告がなされた。また、本年度の秋季企画大会の内容を特集号化することについて検討を進めているとの説明がなされた。

11. 作品集の進捗状況について（杉下作品審査委員長（代）上綱作品審査委員）

上綱作品審査委員より、1次審査の終了、12月からの2次審査開始等の報告がなされ、例年通りのスケジュールで審査が進んでいるとの説明がなされた。

12. ホームページ更新状況について（大島広報委員長）

大島広報委員長より、ホームページへのアクセス状況の報告がなされた。

13. 会報の進捗状況について（曾我部担当理事）

曾我部担当理事より、228号が11月2週目には発行されとの報告がなされた。

14. 第1支部発表会について（横溝第1支部局長）

横溝第1支部局長より、10月3日（日）に支部大会を実施したとの報告がなされた。岩手大学が幹事校となり、オンラインフィールドワークを実施したとの説明がなされた。

15. 第3支部発表会について（滝本第3支部局長）

滝本第3支部局長より、2月19日（土）に第3支部研究発表会を開催するとの報告がなされた。

16. 第5支部発表会について（田村第5支部局長）

田村第5支部局長より、10月30日（土）に第5支部発表会がオンラインで開催されたとの報告がなされた。また、Certificateの発行や高校生による発表など新たな取り組みについても紹介がなされた。

17. 訃報について（佐藤本部事務局長）

JSSDの会計監査でご尽力いただいていた、池田公認会計士事務所の池田雄二郎先生がお亡くなりになったとの報告がなされた。

18. IASDR2021のEarly Bird登録について（小野本部副事務局長）

小野本部副事務局長より、IASDR2021@Hong Kong Poly-UのEarly Bird登録締切が11月10日（水）であるとの報告がなされた。

19. 宮崎清先生の瑞宝章受賞について（久保理事）

久保理事より、宮崎清先生が瑞宝章を受章されたとの報告がなされた。

記録：佐藤（浩）

日本デザイン学会2021年度第4回理事会議事録

日時■2021年12月11日（土曜日）15：00～17：00

場所■Web会議

出席者■小林、佐藤（弘）、生田目、赤井、アルバレス、池田、井関、井上、大島、柿山、上綱、工藤、國本、久保、佐々木、杉下、永盛、橋田、蓮見、平松、伏見、益岡、松岡、村上、柳澤、山中、山本、小野、蘆澤、加藤（健）、佐藤（浩）

欠席者■岡本、國澤、小山、曾我部、滝本、田村、寺内、山内、柚木、横溝

1. 会長挨拶

小林会長より挨拶がなされた。

2. 2021年度第3回運営委員会議事録の承認（佐藤本部副事務局長）

2021年度第3回運営委員会の議事録が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 2021年度学会各賞選考について（山中担当理事）

山中担当理事より工程の遅れについて説明がなされ、審査結果について2月の理事会で審議をすることとなった。

4. 2022年度春季大会について（小林会長、柿山概要集編集委員長）

小林会長と柿山概要集編集委員長より、組織案、構成、形式、オーガナイズドセッション、講演、日程・参加費等の方針案が示された。提示された方針案が承認されたことから、次の理事会では具体的な実施案を示すこととなった。

5. 投稿規定の改定について（久保論文審査委員長、佐藤論審委員）

久保論文審査委員長より、『デザイン学研究論文集』の投稿規定改定案が示された。審議の結果、示された改定案は承認されたが、「査読付き」の定義や区分の役割については引き続き審議していくこととなった。

6. EBSCOデータベース収録について（久保論文審査委員長、佐藤論審委員）

久保論文審査委員長より、EBSCOデータベース収録について説明がなされた。審議の結果、承認された。ただし、パスワードがかかっている雑誌はパスワードを外さずに収録していただくこととなった。

7. 2021年度役員選挙について（永盛選挙管理委員長）

永盛選挙管理委員長より、2021年度役員選挙の開催方法について説明がなされた。審議の結果、前回の役員選挙と同様に郵送による投票+オンラインによる代議員会で実施することとなった。

8. 会員の移動について（佐藤本部副事務局長）

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、

入会：正会員5名（内海外会員1名）、

学生会員4名（内海外会員2名）

退会：正会員10名（内海外会員1名）、
学生会員3名
が承認された。

【報告事項】

9. IASDR2021報告について（山中担当理事、小野担当理事）
山中担当理事より、発表件数や実施に関する報告がなされた。また、2023年はミラノ工科大学で（10月開催予定）実施することとなったとの説明がなされた。

10. デザイン学研究の進捗状況について（久保論審委員長）
久保論審委員長より、『デザイン学研究』における審査状況と68巻3号の準備状況について報告がなされた。

11. 英文ジャーナルの進捗状況について（村上論審委員長）
久保論審委員長より、『Journal of the Science of Design』における審査状況について報告がなされた。

12. 特集号の進捗状況について（寺内学会誌編集・出版委員長（代）小野担当理事）
小野担当理事より、12月中に担当している原稿を入稿予定との報告がなされた。

13. 作品集の進捗状況について（杉下作品審査委員長）
杉下作品審査委員長より、例年通りのスケジュールで審査が進んでいるとの説明がなされた。

14. ホームページ更新状況について（大島広報委員長）
大島広報委員長より、ホームページへのアクセス状況の報告がなされた。また、会員の著書の申請が2件あったとの説明がなされた。

15. 第4支部発表会について（益岡第4支部局長）
益岡第4支部局長より、12月27日（月）に学生交流会、2月23日（水）に第4支部研究発表会、8月27日（土）・28日（日）意匠学会全国大会を実施予定であるとの説明がなされた。

16. 第3支部発表会について（池田副支部長）
池田担当理事より、2月19日（土）に第3支部研究発表会を開催するとの報告がなされた。

記録：佐藤（浩）

住所変更はお済みですか？

住所不明で戻ってくる郵便物が
増えております。

住所変更は確実にお願いします。

届出は文書にてお願いします。

転居される方は、FAXまたは

綴じ込みの「入会届け」に

朱書きで「変更届け」と書き添えて、

事務局までご連絡ください。

ホームページ

http://jssd.jp/files/change_regular.pdf にも

様式が掲載されておりますので

ご利用ください。

退会等の届出も必ず文書にて

お願いします。

本部事務局

2021年度秋季企画大会「Open SIG.」報告

2021年度の日本デザイン学会秋季大会は、11月6日（土）13：00～17：10、オンライン（Zoom）ならではの利点を活かし、オープンキャンパスさながらの「Open SIG (Special Interest Group=研究部会)」を開催し、多くの方々と「研究の秋」を楽しむことができました。

「Open SIG.」は2部構成で開催され、以下の9つの研究部会が参画しました。第一部（環境デザイン部会（ED）・タイポグラフィ部会・子どものためのデザイン部会・農業デザイン部会・アジアデザイン研究部会）、第2部（情報デザイン研究部会（Info-D）・創造性研究部会・タイムアクシスデザイン研究部会・プロモーションデザイン研究部会）

各研究部会には1つのブレイクアウトルームが割り当てられ、自由な企画で研究部会活動を行っていただきました。参加者にはブレイクアウトルームを自由に行き来し、研究部会の活動内容や雰囲気を感じていただきました。

秋季大会検討・運営委員会：企画委員会総合企画（生田目・工藤）・研究推進委員会（小野・蘆澤・柿山）・副会長と事務局長（佐藤弘喜）

2022年度日本デザイン学会春季研究発表大会告知

実行委員長 佐藤弘喜

2022年度春季研究発表大会の概要についてお知らせいたします。多数の会員のみなさまのご参加をお待ちしております。

■日程：2022年6月24日（金）～6月26日（日）

■会場：オンライン大会（Zoom及びoViceによるリモート開催）

■主要日程

【1】発表申込期間／概要集原稿投稿期間

2022年3月1日（火）～3月31日（木）

ポスター発表のポスターデータ投稿期間

2022年6月10日（金）～6月17日（金）

【2】参加申込期間 2022年5月1日（日）～6月22日（水）

※詳細につきましては、大会サイト、日本デザイン学会ホームページ等にて随時お知らせいたします。

大会サイト：<https://confit.atlas.jp/jssd69>

■テーマ：「変化“せられる”デザイン」

デザインは、常に時代の変化とともに歩み、文化・文明を創造してまいりました。20世紀まで、デザイナーはその旗手として捉えられることがほとんどであったように思います。ところが現在、人々は、AI・IoT・big data等の技術革新による第4次産業革命時代のまっただ中、COVID-19や相次ぐ災害もあつ

て、想像だにしない暮らしの変化や、行動の変化に向き合い続けています。デザイナーもまた然りです。環境とのつながりを増す一方のデザインは、変化“させる”ものでなく、変化“せられる”ものとなりました。

デザイン学会では、このような重要な局面において、デザインのあり方や研究のアプローチはどのように変化しているのか、デザインの普遍性とは何か、注目すべき取り組み等々、新たなフェーズについて考え、みなさまとともに議論を深めたいと思います。

日本デザイン学会

第69回 春季研究発表大会

大会長 小林昭世

2021年度第1支部活動報告

支部長 横溝賢

日本デザイン学会第1支部では、これまで地域に開かれた学会活動をコンセプトに、仙台、札幌、函館、秋田、山形、八戸に出向き、地元市民や学生、社会人、教員らがフラットにデザイン学の知見を交流する場を作ってきた。本年度は、岩手・盛岡を舞台に第12回JSSD第1支部大会をオンラインにて開催した。以下に開催概要を示す。

●開催日時：2021年10月3日（日）10：00～16：15

●大会参加者：85人

●プログラム（括弧内は参加者数、発表件数）：オンラインフィールドワークショップ（20人）／もぐもぐタイム／ライトニングトーク（10件）（以下、LT）

今大会は、田中隆充先生（支部幹事／岩手大学）を中心としたチーム（文末に詳細記載）で企画運営され、大会テーマは「素朴な継承」であった。岩手県は、水や漆、鉄をはじめとした自然素材に恵まれた土地である。これら資源を活用する職人の知恵と技術が工芸文化として発展してきた。人々の日々の暮らしの中に自然・土地・伝統文化が息づいており、現在も「素朴な継承」が続いている。

このテーマを背景に、本大会では参加者が、伝統工芸・南部鉄器の高度な鍛造技術を現代に継承する若手職人の工房を訪ね、現場に根付く知恵と技を学ぶワークショップ（以下、WS）をメインプログラムとして企画した。このWSの挑戦は、実際の工房の現場に立つことなくオンライン上でフィールドワークをおこなうことであった。岩手チームでは、WS実現のために事前に工房に出向き、現場を360度カメラで撮影したYouTube動画を用意してWSに臨んだ（図1）。

20名の参加者らは、4グループにわかれ、事前に用意された360度YouTube動画を操作しながら職人の所作や使用道具、作業環境を観察し、それぞれの発見をもとに大会テーマである



図1 360度YouTube動画を見ながらフィールドワークをしている様子



図2 ライトニングトークのグラレコを使って振り返り議論している様子

「素朴な継承とはなにか？」について議論した。

COVID-19によって現場に出向くことができない制約はあったものの、360度YouTube動画によって、参加者はむしろ関心の赴くままに工房を探索し、鍛造工程における道具の扱い方や職人同士の連携の観察から発見したことを互いにもちよる学びを展開していた。

また例年同様に、今大会でもWSやLTのグラフィックレコーディングをおこなった。レコーダを担当した秋田公立美術大学、東北芸術工科大学、札幌市立大学の学生らは、WSではグループの一員として議論に参加し、LTではレコーディングを通じた発見を語る役割で参加した。レコーダがWSやLTの振り返りをリードする役割として参加することにより、学生主体による議論の場が生まれ、互いの研究を生き生きと楽しむ学術交流が生まれていた（図2）。

COVID-19感染拡大は2022年度も続くことが予測されるが、今年度の経験を活かして2022年度・第13回目の第1支部大会を企画開催していきたい。次年度の開催地は、仙台（幹事校：東北工業大学）である。

●2021年度第1支部大会実行委員長：田中隆充（第1支部 幹事、岩手大学）

●大会運営委員：山田香織（岩手大学）、姜澎（岩手大学）、小岩真佳（岩手県立産業技術短期大学校）、長嶋宏之（岩

手県工業技術センター）、高橋正明（岩手県工業技術センター）、永山雅大（岩手県工業技術センター）、斎藤公美（盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校）（順不同）

2021年度情報デザイン研究部会活動報告

主査 横溝賢

情報デザイン研究部会（以下、Info-D）では、多様な現場で活躍するデザイナーの実践を研究のかたちに整える勉強会を定期的におこなっている。

その活動は次の2つの主題に焦点を当てた内容となる。

- 1）ナラティブ：現場の実践談をもち寄り、他者と語らうことから自らのデザインの知のはたらきをわかつてもらう活動。
- 2）オルタナティブ：計画に基づいたデザイン成果の有用性を検証するのではなく、よく定義されていない問題に向きあえるデザイン知の可能性を探索する活動。

上記2つの主題を背景に、第68回春季研究発表大会（以下、春季大会）の、オーガナイズドセッション（以下、OS）では、美術家・鴻池朋子さんを迎えて「人とひとならざるものに、おもいを馳せていく実践者たちの知～わからない世界とむきあえる身体づくり～」をテーマに、ものづくりを通じて複雑な世界と関わろうとする人間の原初的なデザイン知について議論した。また、同大会のテーマセッションでは、「自己の実践知をとらえなおす」を企画し、2日間の大会を通じて4セッション、計25件の実践研究が集まった。各セッションの最後にはディスカッションタイムを設け、各発表者との横断的な議論がおこなわれた。

春季大会における部会企画を通じて、「自覚できていない実践知のはたらき」をわかつてもらう対話からデザイン学のもう1つの可能性を探る場づくりの機運が部会内に生まれ、翌2021年7月からデザイン学のもう一つの可能性を探る語らいの場「Info-D オルタナティブ部（毎月第2週／土曜日／20時～）」をはじめた（図1）。このマンスリー小部会は、デザイン実践

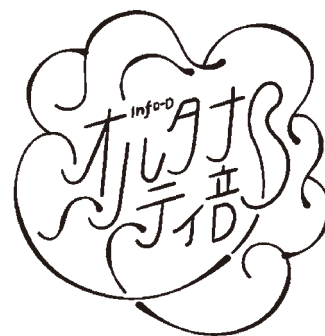


図1 Info-Dオルタナティブ部活動ロゴ

のなかで見つけた、まだフワッとしていて旬な「問い」や「発見」を部会員がもちよって語りあうことからデザインの知を深掘りする場所である。毎月幹事のもちまわり企画で進め、2021年7月から2022年3月まで9回の部活動をおこなってきた。ここではタイトルのみ紹介する。

■7月__vol.1テーマ

春季大会OS「人とひとならざるものにおもいを馳せていくデザイン～美術家・鴻池朋子さんとの対話の振り返り」

●部長：横溝賢（札幌市立大学）、元木環（京都大学）

■8月__vol.2テーマ

U-30企画：「まあ知らんけど」って言われても… ～先輩、それじゃあ困ります！～

●部長：海野真梨菜（エスディーテック（株））、木下菜穂（（株）アイスリーデザイン）、三河侑矢（札幌市立大学 大学院デザイン研究科）

■9月__vol.3テーマ

大人の実践研究のモヤモヤを語りあう～東海大学 富田誠さんの実践研究の語りを題材にして～

●部長：福田大年（札幌市立大学）

■10月__vol.4テーマ

「デザイン大喜利@「Design Red Data Book」

●部長：中島郁子（wirefactory/女子美術大学）

■11月__vol.5テーマ

「MIMIGURIの小田裕和さんと『足元のWHYを問い直すデザイン』について語りあう@秋季企画大会」（図2）

●部長：横溝賢、元木環



図2 11月__vol.5のセッション省察用ビジュアル記録（高島菜／札幌市立大学）

■12月__vol.6テーマ

「情報デザインクロニクル共同編集：ソフトデバイスの歴史を題材にして」

●部長：佐々木麻美（softdevice inc.）、野々山正章（softdevice inc./Yumemi inc./法政大学大学院メディア環境設計研究所）

■2022年1月__vol.7テーマ

デザインするを読む会「デザインの知恵に迫るデザインの振り返り方の探索」

●部長：瀧知恵美（MIMIGURI）、小早川真依子（千葉工業大学）

■2022年2月__vol.8テーマ

「中心無き時代のデザインを読み解く」

●部長：上平崇仁（専修大学）

■2022年3月__vol.9テーマ

「情報デザインと環境倫理に橋をかける」

●部長：二宮咲子（関東学院大学）

以上、9回にわたる小部会は実に多様な視点で「デザインとは何か？」について参加者らと議論する場となった。2022年度もオルタナティ部を続けながら、人びとの生き方と社会の変容に向き合う情報デザインの実践研究を集め、デザイン学のもう1つの可能性を見えるかたちにしていきたい。

●Info-Dの詳しい活動紹介はこちら→



●入会のお問い合わせ先：

小早川真依子（千葉工業大学 先進工学部）

Mail：kobayakawa.maiko@p.chibakoudai.jp

2021年度活動報告ファッションデザイン部会

主査 神野由紀

2021年度ファッションデザイン部会の研究例会は、前年度に引き続きオンライン開催で実施した。

テーマ：日本における百貨店販売教育の変遷からみる現代のアパレル販売員教育の問題点について

発表者：小西 広実（専門学校武蔵野ファッションカレッジ）

発表方法：Zoomによるオンライン開催

要旨：アパレル販売員を取り巻く環境は厳しいものになっている。この解決には、販売員の環境改善と教育の変化が必要である。そこで本研究は、アパ

レル業界の人材不足の解消とアパレル販売員の社会的地位向上を目指し、江戸時代末期から令和時代を対象として、各時代の販売教育の歴史的変遷と現在の販売員教育から、アパレル販売員教育の問題点を明らかにすることを目的としている。さらに、今後のアパレル販売員教育について提案する。

調査結果から、各時代に合わせて様々な販売員が登場したが、その教育は場当たり的であったことがわかった。また現在、販売員教育を行っている大学や専門学校は、学ぶ内容が限定的であり学生は不安を抱えていた。さらに、販売員経験者のインタビューから、低賃金、昇進の不満、慢性的な人材不足ということが挙げられ現場が抱える問題が明らかとなった。

以上のことから今後のアパレル販売員教育は、内容の充実と業界全体で連携した販売員教育が重要であり、企業は職場環境や待遇の見直しが必要であると結論づけた。

参加者全員による活発な質疑応答の後、研究例会を終えた。

タイポグラフィ部会

主査 伊原久裕

タイポグラフィ部会では、2021年に部会の主査が、石川重遠から伊原久裕（九州大学）に交代した。また幹事として、山本政幸（岐阜大学）、劉賢国（筑波技術大学）、高城光（東京工芸大学）、楊寧（相山女学園大学）の諸氏が担当することとなった。

部会の活動方針として、若手の部会員を中心に、部会で扱う共通の研究テーマ企画を立てて研究会などを実施することとした。2021年度は、「書体を選ぶ」をテーマとし、デザイン学会秋季大会での部会のセッションにて同テーマに基づいたディスカッションを開催した。部会員から提出いただいたアンケート結果を踏まえて、書体を選ぶことについての諸問題について意見を交わすことができた。2022年度は、タイポグラフィに関する研究領域の充実を図ることを目的に、春季大会にてタイポグラフィ部会初のテーマ・セッションを開催する予定である。

教育・資格委員会、デザイン科学研究部会活動報告

教育・資格委員会 委員長 松岡由幸

デザイン科学研究部会 幹事 佐藤浩一郎

2021年11月10日、17日、24日の日程で、「デザイナー、エン지니어、経営者、研究者のための「デザイン科学」基礎講座～人はなぜ、創造できるのか？この新理論が、革新的開発力の“体幹”を創り出す！～」を開催した。本講座では、デザイン科学の基盤をなすAGE思考モデル、デザイン二元論、多空間

デザインモデルの3つの理論を、創造の“体幹”と位置づけ、解説した。全3回にわたり、松岡由幸（慶應義塾大学/早稲田大学）、宮下朋之（早稲田大学）、加藤健郎（慶應義塾大学）、佐藤浩一郎（千葉大学）、井関大介（東京造形大学）の5名の講師により、実施した。

参加者は、パナソニック株式会社、トヨタ自動車（株）、（株）本田技術研究所、シチズン時計株式会社、ANSYSなどの企業から9名、早稲田大学、大阪大学、東京大学、京都工芸繊維大学、長野高専、産業技術総合研究所などの教育・研究機関から10名、合計19名であった。

その結果、いずれも、時間終了後も様々な質疑が積極的に行われるなど、盛況であり、一定の効果が伺えることから、次年度も実施する方向で考えている。

デザイン学研究 作品集 27号（2021）の発行

作品審査委員会

「デザイン学研究 作品集 27号（2021）」を、電子ジャーナルとしてインターネット上のJ-Stageに掲載し、発行いたしました。「デザイン学研究 作品集」（以下 作品集）は、J-Stageに掲載公開されることにより、電子化作品論文・作品ムービーとして、世界中どこからでもアクセスが可能となっています。今年度、特に続く新型コロナウイルス感染症の社会状況のなか、本号を発行することができました。次の方々へ感謝します。デザインの優れた作品を論述などして伝えた投稿者のみなさま、複数回に審査いただいた専門審査委員の方々、そして応募から最終審査、編集までのプロセスを担った本委員会の委員と幹事のみなさま、ありがとうございました。本号は以下のURLから閲覧できます。

https://www.jstage.jst.go.jp/browse/adrijsd/27/0/_contents/-char/ja



募集・審査・編集・発行の経緯

今年度は、厳正な作品審査を経て、優れた作品31件の掲載が可能となりました。内10件に作品ムービーが添付されています。採択率は57%です。募集・審査・編集・発行の経緯を以下に記します。

- ・ 6月12日：作品募集の告知（学会Webサイト、メール通知、チラシ添付）
- ・ 8月31日：投稿受付：当初
- ・ 9月10日：投稿受付：延長（54件）
- ・ 9月11日：第1回審査会
- ・ 9月15日～10月8日：第1次審査
- ・ 10月9日：第2回審査会
- ・ 10月20日：審査結果の通知〔第1次審査結果：採択1件、条件付き採択40件、不採択13件〕
- ・ 10月20日～11月14日：著者による原稿修正、受付
- ・ 11月18日～12月9日：第2次審査
- ・ 12月12日：第3回審査会
- ・ 12月20日：審査結果の通知〔第2次審査結果：採録（一部修正依頼）：31件、不採録：9件、辞退：1件〕
- ・ 1月上旬：修正原稿の受付
- ・ 1月下旬から：本委員会では編集内容協議、本委員会より正文社へ発行作業を依頼、正文社より著者へ校正などを依頼、学会事務局より著者へ掲載料を請求
- ・ 2月上旬から：正文社より著者へ校了などを依頼
- ・ 3月末まで：正文社から本委員会へ発行作業終了の報告、J-Stage上で発行

専門審査委員

蘆澤雄亮 伊豆裕一 伊藤孝紀 伊藤真市 井上順子
伊原久裕 岩藤百香 榎本文夫 岡崎章 加藤健郎
上平崇仁 川合康央 小泉雅子 酒井聡 神野由紀 高梨令
高村是州 土田義郎 寺内文雄 豊島祐樹 中島瑞季
長尾徹 永盛祐介 橋田規子 原田和典 星野准一
堀江政広 政倉祐子 安井重哉 吉橋昭夫 李容旭

2021（令和3）年度 作品審査委員会

委員長 杉下哲
委員 岡本誠 上綱久美子 佐々木美貴 山内貴博
幹事 内山雄介 高城光

計 報

- ・ 名誉会員の寺澤勉先生が2022年2月13日に、ご逝去されました。ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
- ・ 名誉会員の日原もとこ先生が2022年3月2日に、ご逝去されました。ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
- ・ 名誉会員の森崇先生が2022年3月21日に、ご逝去されました。ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

献本御礼

◆献本

「黄金比原論」マティラ・ギカ著 パウロ・パトラシュク訳
宮崎興二訳

「JAGDA国際学生ポスターアワード2021図録」発行：公益社
団法人日本グラフィックデザイン協会（JAGDA）、2021年
11月

「第54回造本装幀コンクール文部科学大臣賞・日本書籍出版会
理事長賞受賞『花森安治選集全3巻』」発行：暮らしの手帖社

◆機関誌ほか

「スカリ針研叢書3」発行：針畑生活資料研究会、2021年10月
「デザイン理論 意匠学会編 79号」発行：意匠学会、2022年
1月

「日本オフィス学会誌 Vol13.No.2」発行：日本オフィス学会、
2021年10月

「GK Report No.40」発行：GKデザイングループ、2021年
11月

「TAMABI NEWS Vol.88, Vol.89」発行：多摩美術大学

◆催事情報

「蜷川実花展 富山県美術館開館5周年記念」2022.3.19-2022.5.15
富山県美術館

◆募集

第55回造本装幀作品募集／応募締切2022年4月30日／主催日
本書籍出版協会、日本印刷産業連合会

DNP文化振興財団グラフィック文化に関する学術研究助成
2022年度募集／助成金額1件につき上限50万円／申請期間
2022年4月1日～6月17日（必着）／結果発表2022年10月
※詳しくは財団ウェブサイトをご覧ください

会員の移動

◆第3回理事会 2021.11.06

新入会

正会員 8 名

岩田祐佳梨 大住 裕一 楠 麻耶 酒百 宏一
谷口 聡子 鳥海希世子 堀川 卓哉 武笠 知幸

学生会員 5 名 (内、海外会員 2 名)

石川 琢也 河合 優大 竹中 寛 譚林 宣
万 年

退会

正会員 8 名

江口 倫郎 遠藤 雅子 太田 幸夫 久富 望
児山 啓一 笹本 純 古郡 了 吉田 敏

学生会員 6 名 (内、海外会員 2 名)

川田 進 佐藤 拓海 関根 佳穂 柳橋 達郎
張 倩 陳 虹好

訃報

岡田都喜夫会員 (第4支部)

小坂 昇会員 (第2支部)

ご冥福をお祈り申し上げます。

◆第4回理事会 2021.12.11

新入会

正会員 6 名 (内、海外会員 2 名)

遠藤 拓人 小田 裕和 桑川 美紀 大門 俊介
ChangYao-Xun 呉 宇洋

学生会員 3 名 (内、海外会員 1 名)

西澤 智子 松井佑之介 楊 正翔

退会

正会員 9 名 (内、海外会員 1 名)

小江 和樹 梶井 紀孝 菊地 良覺 須藤 正時
高木 友貴 長山 信一 西山 修司 平野 聖
金 晃泰

学生会員 3 名

工藤 悦子 嶋田 祥之 手島 由記子

自動引き落とし手続きのお願い

当学会では、会費の自動引き落としが義務付けられております。すでに、半数以上の会員の方にご利用いただいておりますが、まだ登録がお済でない会員の方は、登録手続きをされますよう、お願い申し上げます。また、口座引き落とし依頼書がお手元にはない方は、本部事務局へご請求ください。

2022年度の年会費引き落としは、2022年5月6日付けにて引落をさせていただきます。宜しくお手配くださいます様お願い申し上げます。

本部事務局

訃報

藤原 俊三会員（第1支部）

ご冥福をお祈り申し上げます。

◆第5回理事会 2022.02.12

新入会

正会員11名（内、海外会員1名）

今淵 純子	齊藤 豪	関 透真	武田 亜紀
中川 晃	中島 健太	林 武文	早瀬 交宣
柳原 丈二	若槻 七緒	CHOU WEN HUEI	

学生会員 18名（内、海外会員8名）

荒石 磨季	上田 哲也	岡田 未奈	春日 智哉
林 淳可	前田 瑠	三澤 柁文	三宅 駿平
村田 真美	山中 将司	林 恆毅	顧 杰
斉 倩	施 慧	施 双勝	路 梦瑶
タンティーン ヴ		陳 嵐清	

退会

正会員11名（内、海外会員1名）

赤松 明	片山 尊奈	河原 政治	小松佳代子
酒井 正幸	鈴木 昇	高木 庸	高田多恵子
田部 賢一	松本 章		
THONGTHAI WONGWICHAI			

学生会員1名

竹本悠太郎